

横須賀市のEBPM推進に寄与する 経済波及効果分析ツールの開発と全庁的活用



横須賀市 政策推進部 都市政策研究所

Urban Policy Institute

1. 取組の概要



2. 経済波及効果分析ツールの開発



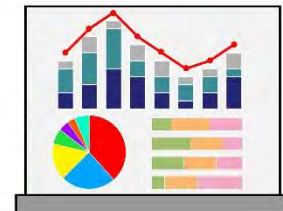
3. 分析ツールの全庁的活用に向けて



4. 政策の検証等への活用例



1. 取組の概要



2. 経済波及効果分析ツールの開発



3. 分析ツールの全庁的活用に向けて



4. 政策の検証等への活用例



都市政策研究所

【分析支援】



- ・ 経済波及効果の考え方
- ・ アンケート票の作成
- ・ 分析ツールの操作方法

- ①分析ツールの開発
- ②活用マニュアルの作成
- ③分析ツール操作研修の開催

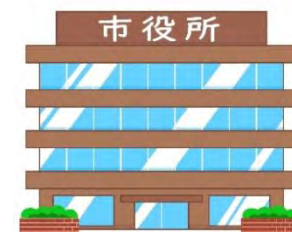


- ④操作方法等に関する相談



市役所各課

【分析実施】



- ・ 必要データの収集
- ・ アンケート調査実施
- ・ 分析ツールの活用

政策効果の予測・測定

&

適確な課題把握・目標設定 等



※

横須賀市の**EBPM推進**に寄与

(※ 証拠に基づく政策立案)

取組の概要



5

2016年度（1年目）

2017年度（2年目）

2018年度（3年目）

- ・ 経済波及効果分析に必要な **横須賀市産業連関表**の作成

- ・ 7種類の**分析ツール開発**
- ・ **活用マニュアル**作成

- ・ **分析ツール操作研修**の開催

平成31年度予算編成方針に
分析ツールの活用等による
費用対効果の検証を追記



取組のすべてについて、**業務委託は行わず職員のみで実施**

1. 取組の概要



2. 経済波及効果分析ツールの開発



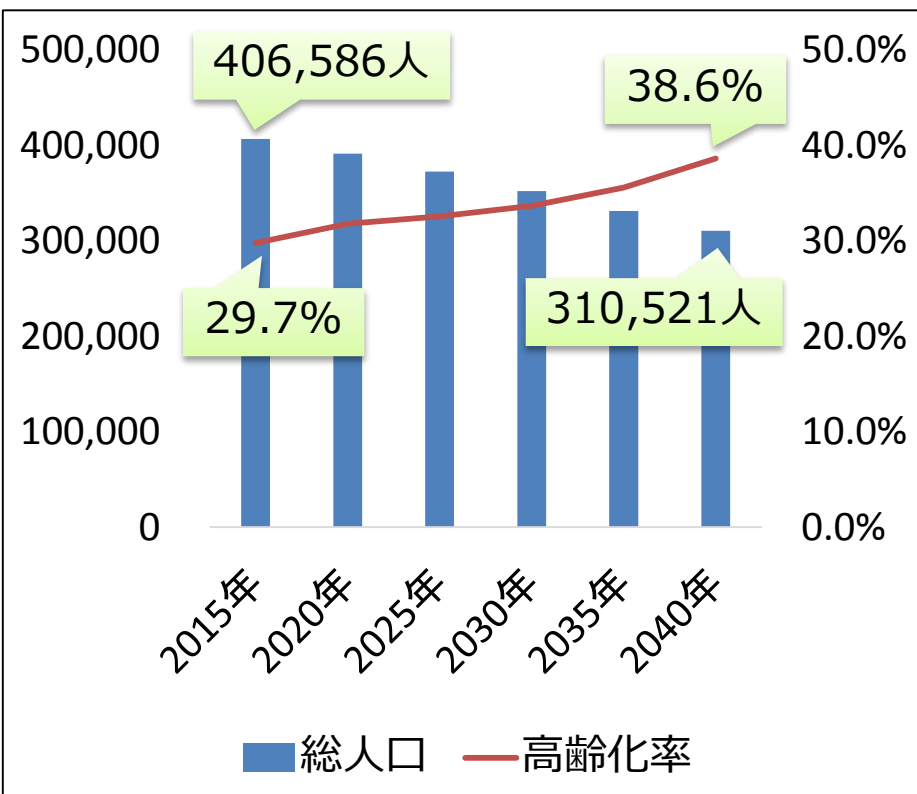
3. 分析ツールの全庁的活用に向けて



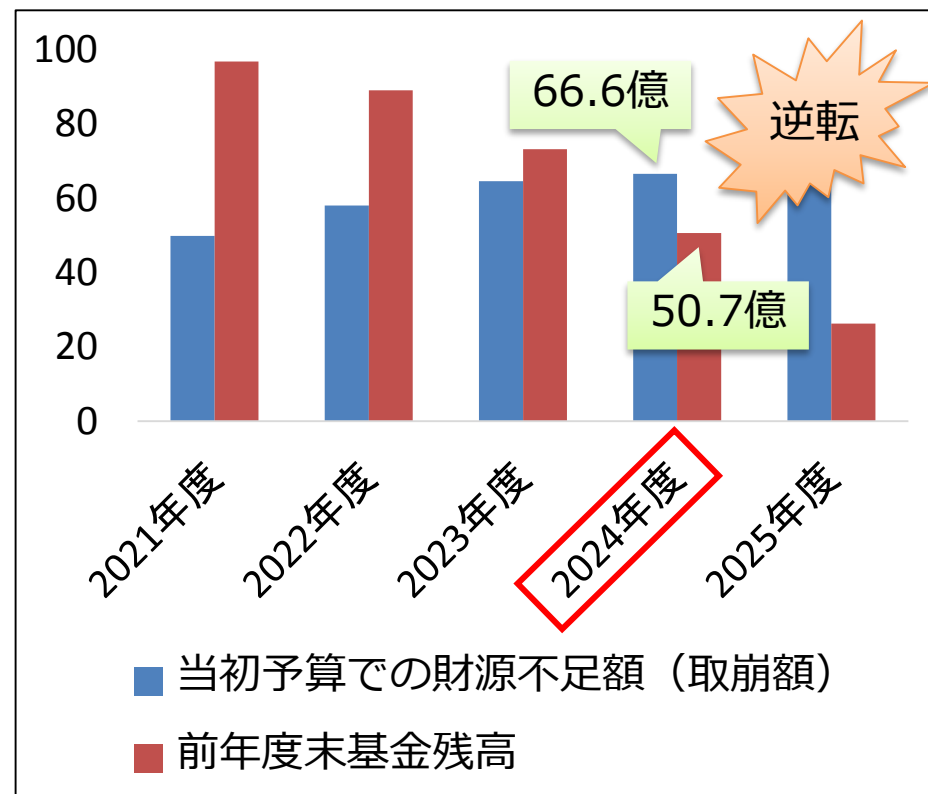
4. 政策の検証等への活用例



<総人口と高齢化率の将来推計>



<財政収支の見通し>



出所) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」を基に作成

出所) 第3次横須賀市財政基本計画を基に作成



Benefit

実施する事業が**最小の経費**で**最大の効果**を生む手法であるのか、EBPMの観点から検証が必要

これまでの政策効果の把握方法



8

イベント開催

企業誘致



観光消費額



宿泊客数



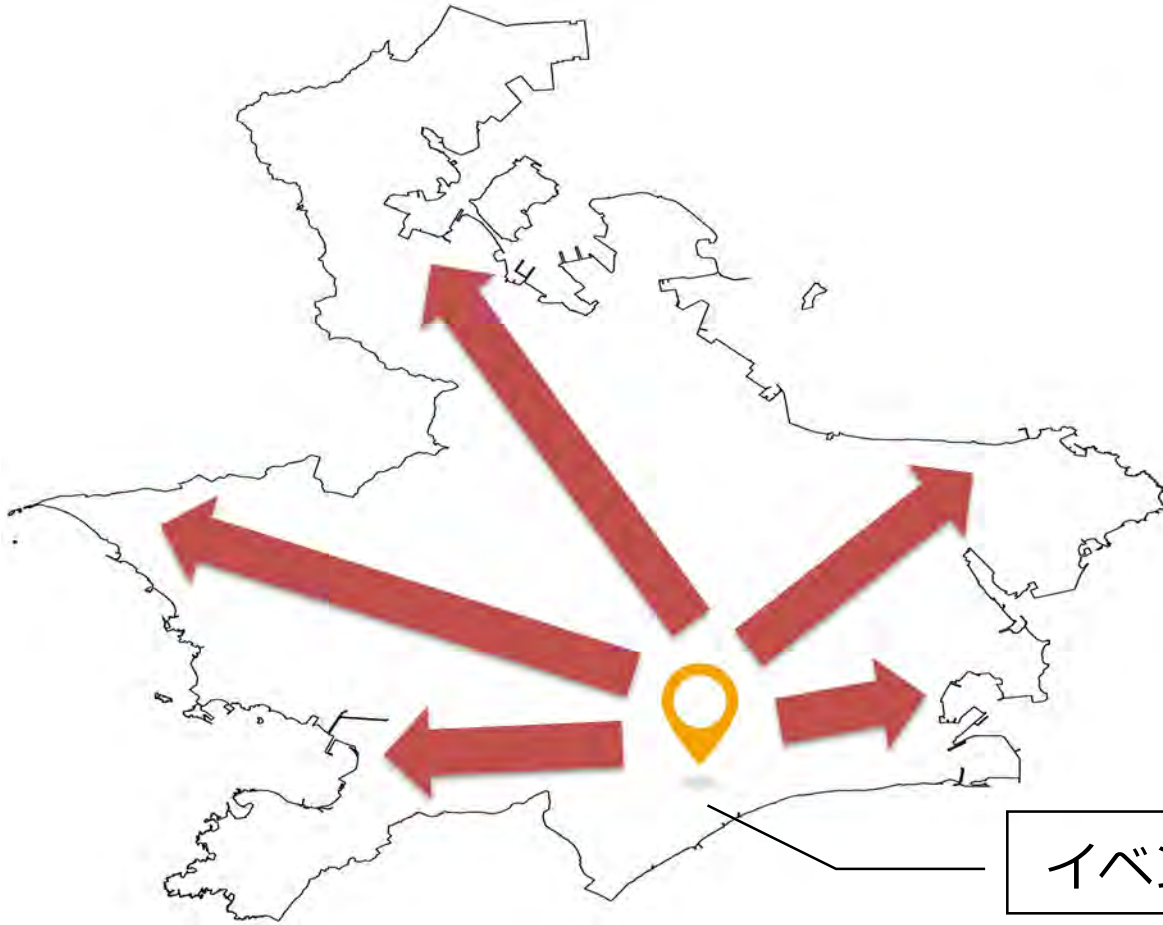
固定資産税



新規従業者数



直接的な効果の測定に留まる



市内経済全体や市内の各産業に対する**経済波及効果**の分析は困難

平成23年（2011年）

神奈川県 産業連関表

| | 中間需要 | 最終需要 | 移輸出 | 移輸入 | 生産額 |
|-------|------|------|-----|-----|-----|
| 中間投入 | | | | | |
| 粗付加価値 | | | | | |
| 生産額 | | | | | |



経済センサス活動調査における産業別従業者数の
対神奈川県の割合等をもとに作成

平成23年（2011年）

横須賀市 産業連関表

| | 中間需要 | 最終需要 | 移輸出 | 移輸入 | 生産額 |
|-------|------|------|-----|-----|-----|
| 中間投入 | | | | | |
| 粗付加価値 | | | | | |
| 生産額 | | | | | |

横須賀市の経済状況に即した経済波及効果の分析が可能に！



産業連関表の作成だけでは経済波及効果进行分析できない

—分析には高度な知識や計算技術の習得が必要

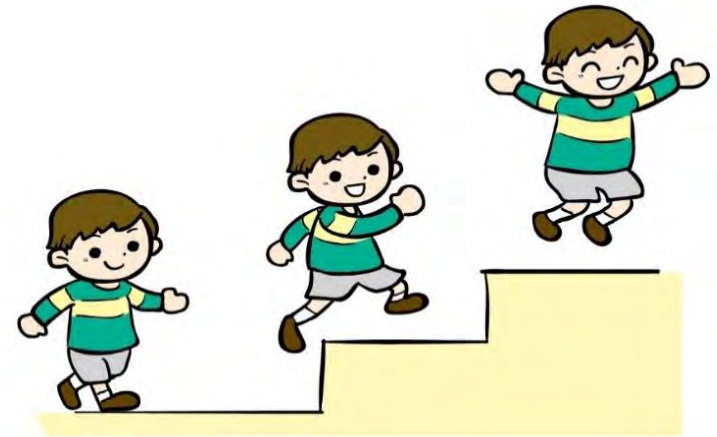
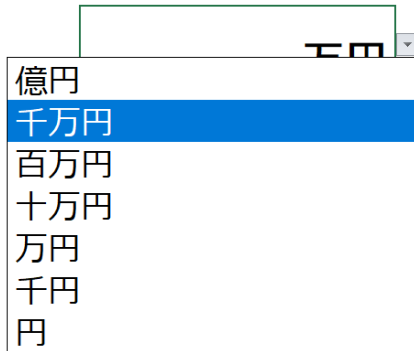
—短期間に職員の専門性を確保することは事実上困難

⇒簡易な操作で分析可能なツールを開発する必要性

①種類の豊富さ



②操作の簡易性 ※観光・イベントツールの場合



STEP 1 分析結果の表示単位を選択



(単位:人)

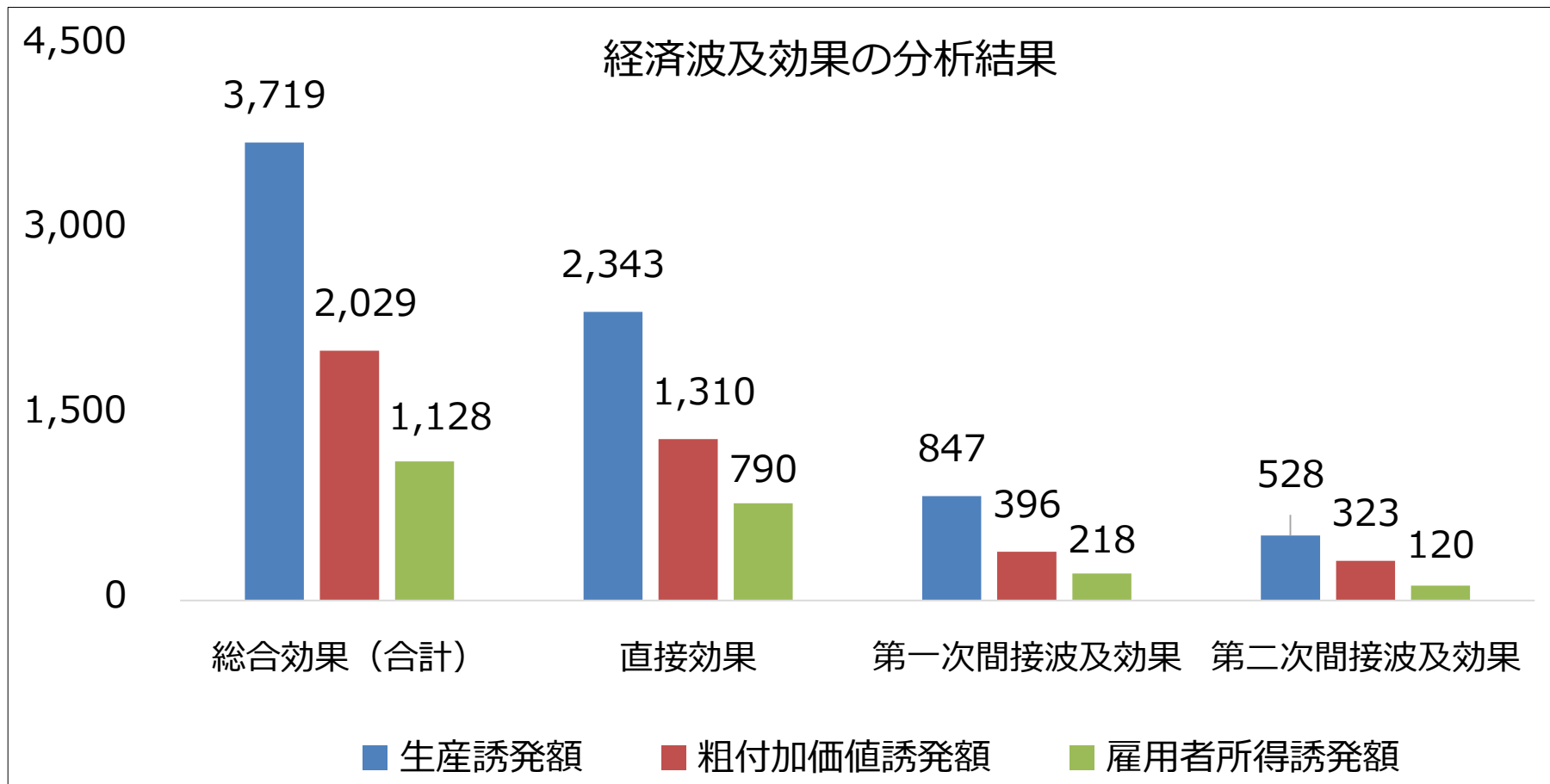
(単位:円)

| | 人数 | 交通費 | 宿泊費 | 飲食費 | 土産・買物代 | 入場料・娯楽費・その他 |
|------|-----------|-------|--------|-------|--------|-------------|
| 宿泊客 | 134,847 | 5,977 | 13,808 | 3,163 | 4,637 | 1,129 |
| 日帰り客 | 4,396,401 | 1,822 | 0 | 1,547 | 1,716 | 1,120 |

STEP 2 宿泊客／日帰り客の人数と費目別の消費単価を入力

③多機能性

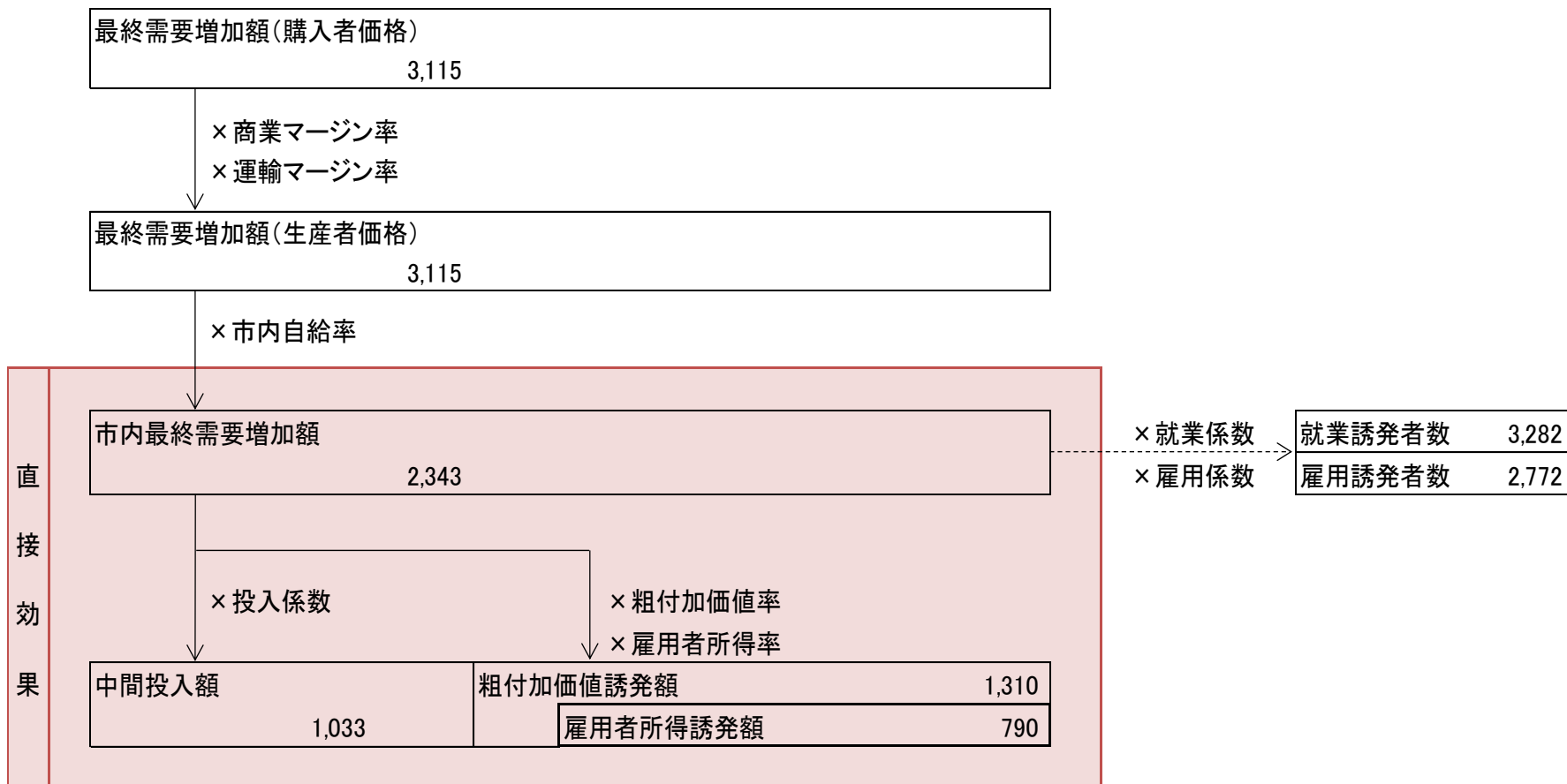
(単位：千万円)



分析結果の自動的なグラフ生成が可能

③多機能性

※一部抜粋



分析結果の自動的なフローチャート作成が可能

③多機能性

※一部抜粋

| No. | 産業部門 | 総合効果 | | | | |
|-----|---------------|-------|-------|--------------|------------|------------|
| | | 生産誘発額 | 粗付加価値 | | 就業 誘発者数 | 雇用 誘発者数 |
| | | | 誘発額 | 雇用者所得 誘発額 | | |
| 097 | その他の非営利団体サービス | 15.6 | 9.3 | 6.4 | 14.6 | 14.5 |
| 098 | 物品賃貸サービス | 28.9 | 19.6 | 6.6 | 14.4 | 13.1 |
| 099 | 広告 | 0.7 | 0.2 | 0.1 | 2.8 | 2.8 |
| 100 | 自動車整備・機械修理 | 40.8 | 14.6 | 8.4 | 28.5 | 26.4 |
| 101 | その他の対事業所サービス | 16.3 | 12.0 | 6.1 | 23.3 | 18.9 |
| 102 | 宿泊業 | 188.7 | 90.5 | 53.6 | 187.4 | 176.5 |
| 103 | 飲食サービス | 764.7 | 330.7 | 238.0 | 1491.0 | 1249.4 |
| 104 | 洗濯・理容・美容・浴場業 | 74.1 | 51.6 | 23.0 | 135.3 | 83.6 |
| 105 | 娯楽サービス | 279.3 | 193.5 | 76.7 | 226.6 | 221.7 |
| 106 | その他の対個人サービス | 21.8 | 16.2 | 8.2 | 30.8 | 21.7 |



分析結果の108産業部門別の表示が可能

※37・13産業部門別も表示可能

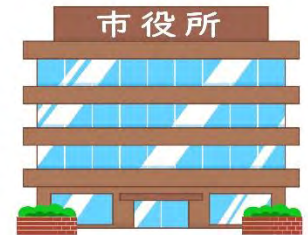
1. 取組の概要



2. 経済波及効果分析ツールの開発



3. 分析ツールの全庁的活用に向けて



4. 政策の検証等への活用例



①活用マニュアルの作成

※一部抜粋

次に、設備投資を行う産業部門に設備投資の総額を入力する（図表2-5参照）。ここでは、「市内の乗用車工場が1,000百万円の設備投資を行った場合」を想定しているため、「乗用車」部門に「1,000」と入力した。

なお、設備投資の内容を108部門別に把握している場合には、「需要増加ツール」を利用する。

図表2-5 データ入力

(単位:百万円)

| No. | 産業部門 | 設備投資額 | 設備投資額(計) |
|-----|--------------|-------|----------|
| 051 | 民生用電気機器 | 0 | 1,000百万円 |
| 052 | 電子応用装置・電気計測器 | 0 | |
| 053 | その他の電気機械 | 0 | |
| 054 | 通信機械・同関連機器 | 0 | |
| 055 | 電子計算機・同附属装置 | 0 | |
| 056 | 乗用車 | 1,000 | |
| 057 | その他の自動車 | 0 | |
| 058 | 自動車部品・同附属品 | 0 | |
| 059 | 船舶・同修理 | 0 | |
| 060 | その他の輸送機械・同修理 | 0 | |

POINT!

分析ツールの操作方法を解説

①活用マニュアルの作成

※一部抜粋

3. 観光・イベントツール I を利用した事例分析

■分析タイトル

- ・観光入込客の消費支出による経済波及効果分析
- ・市民マラソン大会を開催した場合の経済波及効果分析

■分析概要

多くの市町村においては産業連関表が作成されていないことから、宿泊業や飲食サービス、運輸、娯楽サービスなどの多岐にわたる「観光産業」が、市内経済を構成する各産業に対してどの程度の効果を及ぼしているのかを定量的に把握することは容易でない。実際に、市町村における観光施策の評価に当たっては、従来から観光入込客数や観光消費額といった「観光産業」の一側面を捉えた指標が設定され、十分とは言えない状況にある。

そこで、観光入込客の消費支出による需要増加がもたらす経済波及効果分析を行う。併せて、市民マラソン大会の開催経費による需要増加がもたらす経済波及効果分析も行う。

POINT!

分析ツールごとに実際の事例分析を掲載

②分析ツール操作研修の開催

対象

横須賀市職員



分野

- * 建築・公共事業・土木編（計15名参加）
- * 設備投資・生産増加編（計9名参加）
- * 観光・イベント編（計26名参加）



内容

- ・ 経済波及効果の基本的な考え方の説明
- ・ 分析ツールの操作方法の解説
- ・ 実例を題材とした演習 等

計2時間程度



③ 予算編成方針への追記

平成31年度（2019年度）予算編成方針（p.10）

“現状をデータに基づきできる限り定量的に分析し、現在の課題が生じた要因を明確にすること。そして、**例えば都市政策研究所が開発した経済波及効果分析ツールを活用するなどにより、** その手法が最小の経費で最大の効果を生む手法であるのか、要求にあたって十分に検証すること。”

1. 取組の概要



2. 経済波及効果分析ツールの開発



3. 分析ツールの全庁的活用に向けて



4. 政策の検証等への活用例



<ANAウインドサーフィンワールドカップ横須賀大会>

■ イベント開催等の経済波及効果を横須賀市で初めて独自に分析

(単位：千円)

| 費用区分 | 経費／消費額 |
|--------------|---------|
| ①開催経費 | 134,640 |
| ②来場者消費額（会場内） | 113,980 |
| ③来場者消費額（会場外） | 99,800 |



※開催経費のデータは、政策推進課が積算したもの

※来場者消費額は、来場者の総数（49,482人）を宿泊客・日帰り客に分割し、それぞれに費目別の消費単価（交通費、宿泊費、飲食費、土産・買物代、入場料・娯楽費・その他）を乗じて算出

※宿泊客・日帰り客の割合や費目別の消費単価は、名桜大学・平野貴也教授が会場内で実施したアンケート調査結果による（有効回答数は477）

<分析結果の公表>



YOKOSUKA NEWS RELEASE

平成 30 年 (2018 年) 7 月 18 日

報道機関 様

横須賀市政策推進部長

イベント開催の経済波及効果を初めて分析！！

～ANA ウィンドサーフィンワールドカップ横須賀大会の経済波及効果は約3億円～

この度、ANA ウィンドサーフィンワールドカップ横須賀大会（5月10日～5月15日）の開催による市内への経済波及効果および雇用創出効果を次のとおり分析しました。

分析に当たっては、都市政策研究所が開発した横須賀市独自の経済波及効果分析ツールを活用しています。本市でイベント開催などの経済波及効果を独自に分析するのは初の試みです。

※分析に当たっては、国や都道府県と同様の手法を用いています。分析結果については、一定の基本的仮定や前提条件に基づく理論的な数値で、実際に本市に発生する効果とは必ずしも一致しません。

1. 市内における経済波及効果は約3億円

(単位：千円)

| 費用区分 | 直接効果 | 第一次間接波及効果 | 第二次間接波及効果 | 合計 |
|--------------|---------|-----------|-----------|---------|
| 開催経費 | 19,410 | 6,891 | 4,278 | 30,579 |
| 来場者消費額 (会場内) | 83,080 | 33,360 | 18,880 | 135,320 |
| 来場者消費額 (会場外) | 89,110 | 32,050 | 18,720 | 139,880 |
| 合計 | 191,600 | 72,301 | 41,878 | 305,779 |

2. 大会開催の費用対効果は2.27倍

開催経費1億3,464万円に対して、経済波及効果は3億578万円で、費用対効果は2.27倍となります。

3. 経済波及効果の産業別内訳 (上位5産業)

108産業分類のうち、特に経済波及効果の大きい産業は、次表のとおりです。

(単位：千円)

| | 飲食サービス | 商業 | 宿泊業 | 食料品 | 娯楽サービス |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 経済波及効果 (合計) | 71,850 | 43,490 | 26,090 | 23,450 | 14,530 |

4. 市内における雇用創出効果は34人分

経済波及効果3億578万円を就業者数で換算すると、34人分となります。

<タウンニュース横須賀版7/27号より抜粋>



調査ツールを開発、検証に活用

ウィンドサーフィンW杯の経済波及効果(単位:千円)

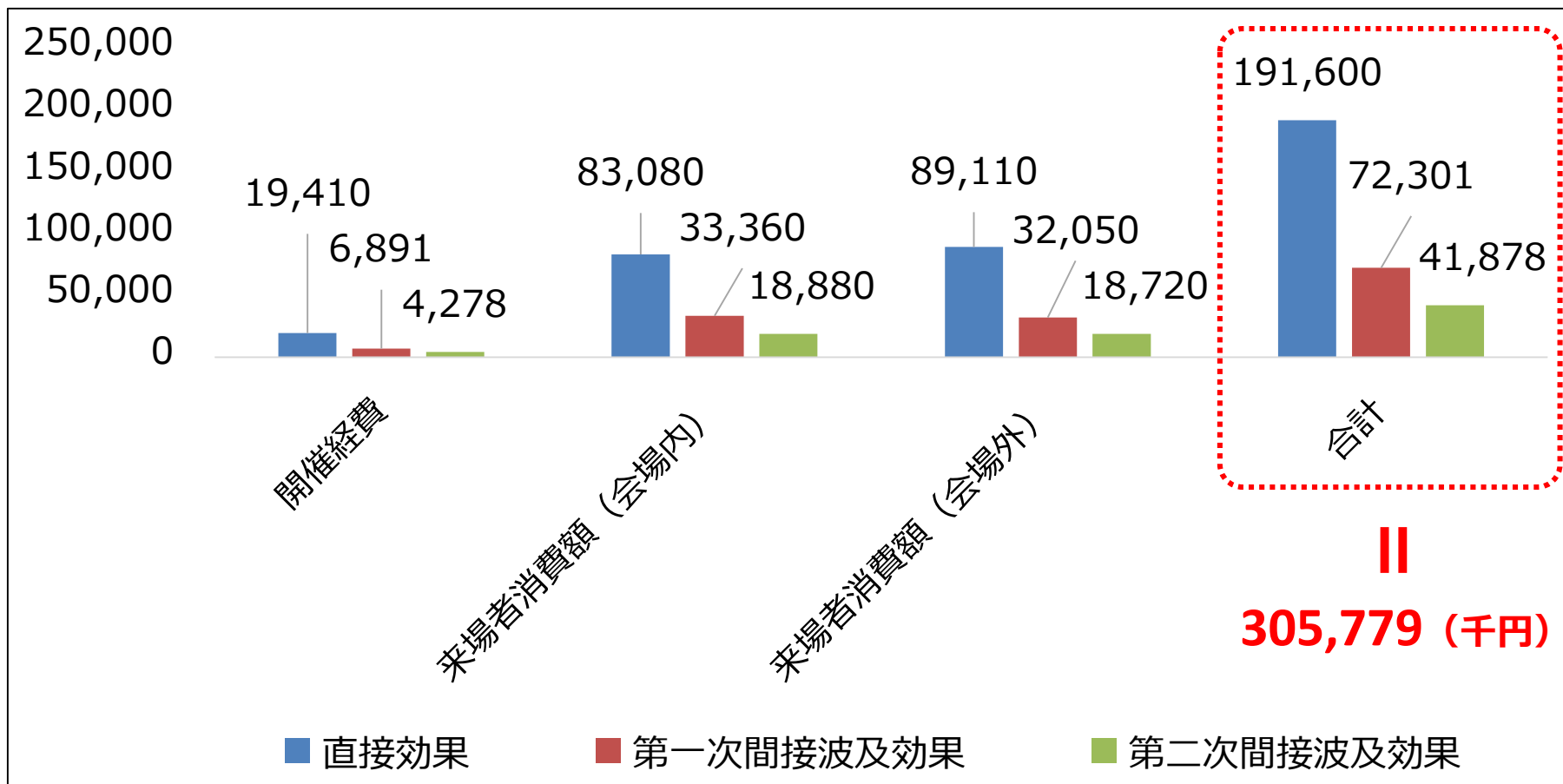
| 費用区分 | 直接効果 | 第一次間接波及効果 | 第二次間接波及効果 | 合計 |
|--------------|---------|-----------|-----------|---------|
| 開催経費 | 19,410 | 6,891 | 4,278 | 30,579 |
| 来場者消費額 (会場内) | 83,080 | 33,360 | 18,880 | 135,320 |
| 来場者消費額 (会場外) | 89,110 | 32,050 | 18,720 | 139,880 |
| 合計 | 191,600 | 72,301 | 41,878 | 305,779 |

市内で実施されたイベントや観光施策で、どのくらいの消費と投資があり、地元経済への波及効果が生まれたのか。今回、「経済波及分析ツール」を開発した都市政策研究所は、調査研究や政策立案「横須賀白書」の作成などを行う市役所内の部署、同研究所が昨年度の事業として手掛けたもので、市内の産業構造や産業相互の取引関係、経済構造などを把握する「産業連関表」を作成。これをもとにした計算式に必要な数値を入力し、消費や投資などの波及効果を測ることができる。県や政令市以外にこうした分析ツールを独自に開発する例はあまりないという。

横須賀市は、イベント等における市内への経済波及効果や各産業への影響、雇用創出を数値で割り出す「分析ツール」を開発した。初の試みとして、5月に行われたANA ウィンドサーフィンワールドカップ横須賀大会を対象に波及効果を算出。今後、市内の大規模イベントでの活用や経年でデータ検証も検討していく。

■ 費用区分別の経済波及効果

(単位：千円)



⇒大会開催による市内への経済波及効果は約3億円

■ 会場内の経済波及効果（宿泊客・日帰り客別、費目別）

| | 宿泊客 | | 日帰り客 | |
|-------------|----------------|-----------|----------------|-----------|
| | 経済波及効果 (千円) | 割合 (%) | 経済波及効果 (千円) | 割合 (%) |
| 飲食費 | 3,248 | 45.1% | 73,677 | 57.5% |
| 土産・買物代 | 3,793 | 52.7% | 37,695 | 29.4% |
| 入場料・娯楽費・その他 | 156 | 2.2% | 16,752 | 13.1% |
| 合計 | 7,196 | 100.0% | 128,124 | 100.0% |

⇒日帰り客の土産・買物代による経済波及効果の割合が低い



日帰り客に会場内での土産購入を促す施策が必要ではないか？

■ 会場外の経済波及効果（宿泊客・日帰り客別、費目別）

| | 宿泊客 (経済波及効果) (千円) | 日帰り客 (経済波及効果) (千円) |
|-------------|----------------------|-----------------------|
| 交通費 | 10,175 | 35,572 |
| 宿泊費 | 26,739 | 0 |
| 飲食費 | 9,244 | 32,352 |
| 土産・買物代 | 2,946 | 4,772 |
| 入場料・娯楽費・その他 | 6,090 | 11,990 |
| 合計 | 55,194 | 84,686 |

⇒ 宿泊客・日帰り客ともに、土産・買物代による経済波及効果が低い



会場近隣の観光施設等への回遊性向上が必要ではないか？



- 分析ツールを活用した政策の検証等の浸透
⇒分析ツール操作研修を必要に応じて継続開催
- 分析ツールの継続的な活用
⇒横須賀市産業連関表のデータ更新
- 分析ツールの機能拡充
⇒生産増加がもたらす市内への税収効果等の分析



〈相模湾の景観〉



〈横須賀美術館〉



〈横須賀芸術劇場〉



〈猿島とサイクリング〉

御清聴ありがとうございました